

## パートナーシップ宣言 概要

大分県とともに、「転職なき移住」促進による地方創生にご賛同いただいた企業・団体様が、社会における新たな働き方や暮らしの推進を実施・検討・共創するための宣言です。

### 目的

「転職なき移住」の促進による地方創生を目的に、相互の連携・協力を目指し、企業・団体とパートナーシップを構築します。

各企業・団体のパートナーシップ宣言に基づき、以下の連携を図ります。

- ① 地方創生の取組
  - ② 大分県の持つ地域資源や人材・域外企業とのマッチング機会の創出
- 大分県の抱える様々な地域課題解決を図る取組、及び大分県を中心としたこれからの社会における新たな働き方、暮らしの推進を実施・検討・共創します。

### 連携・協力 対象分野

#### 大分県への転職なき移住の促進

- 働き方の多様化に向けた取り組みの一環として、大分県の転職なき移住に関する受入態勢の強化
- 環境整備及び転職なき移住への関心が高い企業の誘致などを促進

#### 域外企業との交流促進、産業活性化、関係人口の創出

- 大分県の観光業への経済効果、移住希望者の増加、地域への活動を通じた新たな関係企業の増加
- テレワークやワーケーション等を活用した、域内企業との交流促進
- 各市町村と連携したコンテンツ制作、プロモーション業務の創出
- 地域の強みや地域産業における本質的な価値の炙り出し、地域産業の活性化に向けたアプローチ

#### 多様な知見・スキルを活用した地域課題の解決、魅力ある地域づくり

- 域外企業がもつ知識・経験を生かした社会貢献活動（プロボノ活動など）
- 副業など多様なキャリア形成支援による、県内産業の活性化への貢献
- 大分県が抱える地域課題の解決を推進

おおい  
た  
で  
生  
きる。

企業連携による大分県移住促進のご案内



おおい  
た  
で  
生  
きる。



おおい  
た  
で  
生  
きる。

## パートナーシップ宣言企業・団体

富士通株式会社  
合同会社DMM.com  
ココヨ株式会社  
NTT西日本  
NECソリューションイノベータ株式会社  
バリエンスホールディングス株式会社  
AKKODiSコンサルティング株式会社  
株式会社アドトップ  
Cross US株式会社  
株式会社エール・ヴァンクール  
株式会社スカラ  
株式会社電通アドギア  
一般社団法人日本ワーケーション協会

一般社団法人日本テレワーク協会  
一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会  
株式会社ウェブスター  
株式会社プライマルヴェニュー  
株式会社Oriai  
株式会社ブレイク  
株式会社講談社ピーシー  
株式会社ホンプロ  
トランスコスモス株式会社  
株式会社MARUKU  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
株式会社リハライフサポート

(令和7年1月14日現在) ※順不同

### 本事業に関するお問い合わせ

大分県企画振興部  
おおいた創生推進課 移住定住促進班  
〒870-8501 大分市大手町3-1-1 (大分県庁舎本館3階)

TEL: 097-506-2038

FAX: 097-506-1804

MAIL: a10113@pref.oita.lg.jp

人材のQOLが向上し  
企業にイノベーションが生まれる  
“転職なき移住”という選択



大分県では、従来の「個人向け」移住事業に加え、「企業連携」も踏まえたハイブリッド構造とすることで、企業と社員にやさしい移住プログラムを実現します。そして、企業と大分県がパートナーとなり、多様な可能性の創出を目指します。

### 移住に関わる企業と社員の課題

優秀な社員を、やむを得ない移住のために転職させたくない

家族や親族の都合で移住が必要だが、移住先での仕事はどうする

社員の働き方の多様性を推進したい

場所を選ばない働き方がしたい

( 企業の課題 )

( 社員の課題 )

両者の思いを解決するのが

# “転職なき移住”

企業と大分県とのパートナーシップ構築により、退職することなく移住を可能にする、企業と社員の想いに寄り添う移住のかたち。それは「健康維持・増進」、「人間関係の改善」、「ストレス低減」、「エンゲージメントとモチベーションの向上」といった社員のウェルビーイングを高めることに繋がります。そして社員の意識充実により、「離職率の低下と採用力の向上」、「生産性の向上」をはじめ、企業にとって計り知れないメリットが生み出されることとなります。

余暇時間がたっぷり

ちなみに、大分県と東京都のこんな違い、ご存知ですか？

家賃が割安！面積もゆったり！

#### 通勤時間の比較

	通勤時間 (片道)	仕事からの 帰宅時間
大分	18.5分	18:02
東京	41分	19:15

出典：令和3年社会生活基本調査

#### 住まいの比較

	住宅地 平均価格	持ち家 住宅率	持ち家 延床面積	家賃 (民間借家)
大分	26,300円/㎡	63.5%	98.02㎡	41,447円/月
東京	404,400円/㎡	45%	65.90㎡	81,001円/月

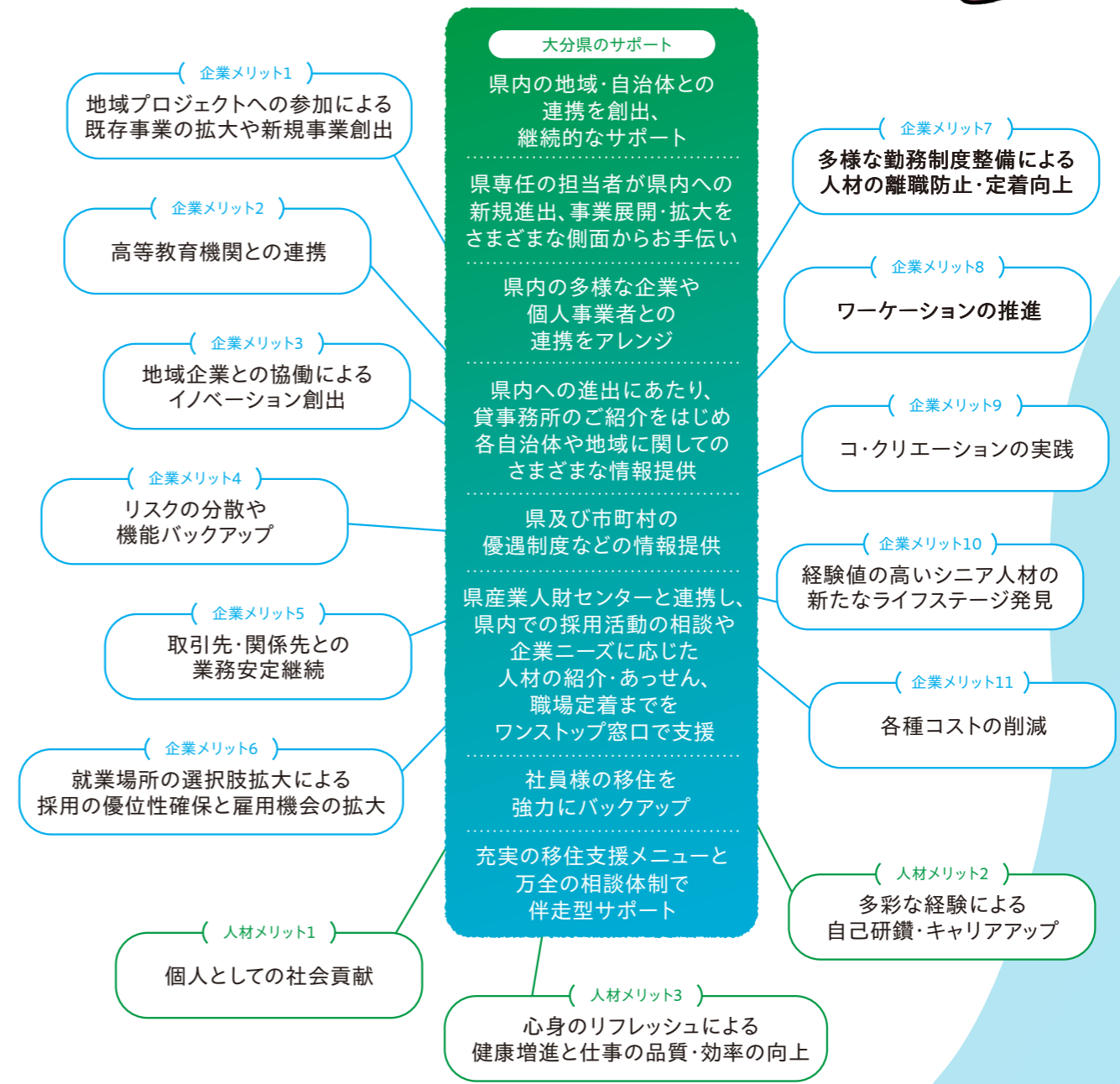
出典：令和5年都道府県地価調査 平成30年住宅・土地統計調査

企業の多様なビジョンをサポートする支援体制を準備し、“転職なき移住”の促進により企業と大分県との相互連携・協力を目指したパートナーシップ(パートナーシップ宣言※1)を構築。企業と社員、自治体が一体となりながら互いにメリットを高めていきます。

私たちとパートナーシップを結んでいただければ、多様な支援体制を整え、お迎えいたします！



“転職なき移住”は多様なメリットを創出します！



※1/パートナーシップ宣言とは大分県と大分県での「転職なき移住」の取組を推進する企業が地方創生の取り組み、大分県の持つ地域資源や人材・域外企業とのマッチング機会の創出を目的とする連携関係。社会における新たな働き方や暮らしの推進を実施・検討・共創するための宣言です。(※詳しくはパートナーシップ宣言概要を参照)

# 事例

富士通株式会社では2021年に大分県と締結した移住・ワーケーションによる包括連携協定で3つのテーマを掲げ、「転職なき移住」を推進。2024年12月20日までに24人の社員が協定を活用し、移住を実現させています。

## 富士通の主な取り組み

### 1 大分県への移住を伴う遠隔勤務の推進

富士通では2020年7月より推進している「Work Life Shift」の取り組みの一環として、単身赴任の解消、家族事情による遠隔勤務を順次実行。本人が大分県への移住を希望し、かつ要件を満たし所属長が認めた場合において、大分県での遠隔勤務を可能とし、大分県への移住環境の整備を推進。

大分県との連携

#### 大分県のサポート

富士通社員向けの移住相談会を実施。「暮らし」「仕事」「支援策」などの解説により、移住前の不安解消、後押しを行います。

### 2 ワーケーションの活用

富士通グループ従業員のリフレッシュや地域への活動を通じた新たな知見獲得のため、テレワークを活用して普段とは異なる場所・地域に滞在して働く短期間のワーケーションを実施。各市町村と連携をしたワーケーションプランのプロモーション、富士通健康保険組合保養所(湯布院荘)を活用した取り組みなどを推進。

#### [実施例]

- 別府市で大学生を対象に「富士通社員と考える新たな働き方」を開催。学生と社員が協力して地域を活性化するビジネスアイデアを創出。
- 豊後大野市で「市のファンづくりから関係人口拡大へ」をテーマにワーケーションを実施。地域団体や移住者との交流を通して、地域の課題解決を推進。
- 由布市で中学生を対象に「未来の語り場」プロジェクトを実施。SDGsや社会課題について考え、将来を語り合うことで中学生が未来について考えるきっかけを創出。

大分県との連携

#### 大分県のサポート

企画段階から県が協力し、実施市町村の選出や自治体、関係団体との継続的な関係性構築に向けた調整を実施しました。



大分県との連携

#### 大分県のサポート

副業人材を求めている県内中小企業とのマッチング機会を創出。大分県に移住した富士通社員が県商工会連合会に専門家登録されました。これにより県内中小企業のDX化支援など様々な相談を受けることができる体制が構築されました。

### 3 社員の多様な知識・経験を活かした地域課題の解決

富士通グループ従業員が持つ知識・経験を生かした社会貢献活動や、副業など多様なキャリア形成支援による県内産業の活性化への貢献および県が抱える地域課題の解決を推進。

### こんな社員さんたちが大分に移住しました!

- 動機1 大分の環境の中で子どもを育てたい
- 動機2 実家の両親のサポートを得て子どもを育てたい
- 動機3 親の近くで暮らしながら両親をサポートしたい
- 動機4 セカンドキャリアを見据えて、その準備をしたい
- 動機5 大分の地方創生に貢献したい
- 動機6 ふるさとの地方活性化に向け、地元企業と連動したい



## 事例レポート

### 『転職なき移住』好きな地域で好きな人たちと生きていく

大分県(知事:佐藤 樹一郎)は、転職なき移住の促進による地方創生を目的に相互の連携・協力を旨とし、富士通株式会社を含む22社・3団体(「パートナーシップ宣言企業・団体」参照)とパートナーシップを構築しました。今後、各企業・団体のパートナーシップ宣言に基づき、地方創生の取り組みや、大分県の持つ地域資源や人材と域外企業等のマッチング機会の創出を通じ、大分県の抱えるさまざまな地域課題の解決を図る取り組みおよび大分県を中心としたこれからの社会における新たな働き方、暮らしの推進を検討・実施・共創します。今回は、大分県大分市へ「転職なき移住」をされた金澤 亮さんの現在に至るまでを伺いました。

- お名前:金澤 亮さん
- 出身地・前住居:埼玉県吉川市(大学卒業するまで)
- 現住所:大分県大分市
- 年齢:33
- 職業:富士通 Japan 株式会社

### 大分県大分市へ「転職なき移住」

2013年に株式会社富士通マーケティング(現富士通Japan株式会社)に入社し、名古屋での暮らしをスタートした金澤さん。20代の社会人生活を名古屋で過ごし、2020年に大分県大分市へ移住することになりました。

大分市での生活がはじまり、環境が大きく変わったことで金澤さんの仕事やプライベートにも大きく影響していきました。

金澤さん「まず、趣味がアウトドアなので、自然が身近にたくさんあることはとても嬉しいです。子育てもしやすく、まさに住みよく暮らしやすい地域だと実感しています。さらに、地域や人の良さに触れ、仕事とプライベートも充実していきました。日々の暮らしと人々との関わりの中で、自分の生き方や働き方、行動そのものが変わっていったことを実感しています。プライベートで知り合った人がそのままビジネスに繋がることが増えました。趣味が同じ、好きなものが一緒など、一つの共通点を感じています。県外市外から移住した人を快く受け入れて、そのまま何か新しいことを生み出すことができるのは、移住者側も嬉しいし、とてもワクワクしますね」



画しています。フェローの役割は、セミナー受講生が連続的なグループワークを実施し、地域課題に対する政策立案および政策提言を行うためのサポートをすることです。フェローメンバーは、セミナーのOB・OG等、産学官民さまざまな立場の方が参画しています。2つ目に、大分県eスポーツ連合の理事として、大分県にeスポーツを普及させる活動を行っています。

現在は、eスポーツ×地域振興という新しい形で大分県を発信しながら、eスポーツの大会やイベントの運営を行なっています。老若男女問わず、ルールとやり方さえ覚えれば誰でも楽しめるeスポーツ。大分県から未来のeスポーツプレイヤーの輩出や、地域のコミュニケーションツールとしての発展を期待しています。3つ目の活動は、地域課題解決型「サイキネオヤンキー」です。名前だけ聞いたら何のこと?と思われるかもしれませんが、大分県シビックテック推進事業から生まれた地域課題解決型ヤンキー集団の総長として活動しています。「サイキネオヤンキー」とは、「地元が好き・仲間思い・熱量がすごい」など、地域や社会に対し熱量と戦略をもって、自分たちが求める豊かな暮らしを表現する人々を「ネオヤンキー」と定義し、活動拠点の佐伯市と掛け合わせて生まれました。メンバーは、「経営コンサルタント・建材商社の若手社長・建築士・ITコンサル・公共不動産デザイナー・看護

師、銀行員・自治体職員」など、20代~40代の多岐にわたる属性を持つ、佐伯市内外の社会人と大学生の約10名で構成されています。現在、佐伯市にある面白いヒト・モノ・コトを巻き込んで、地元高校生と一緒に地域の活動に取り組んでいます。

### 「転職なき移住」で人生の拠点となる地域と出会った

人生を設計する上で、挑戦したいことやイベントなど様々な出来事が増えていきます。そんなとき、自分自身のキャリアを諦めず、みんなが暮らしやすい環境を整えることができたら、こんな嬉しいことはありません。

金澤さん「私にとって「転職なき移住」のメリットは、まさに「職を変えずに新たな地域での仕事や暮らしを実践できる」ことです。その上で、自分自身でキャリアを設計することができます。就職や働くことで、何かを諦めるを得ないことはたくさんあると思います。しかし、「転職なき移住」という選択肢が増える事で、家族や自分自身にとってのより豊かな暮らしを選ぶ事の自由度が広がりました。これから就職を

考える学生や転職を検討している方へ、今まで以上に人生の選択肢を増やし、より豊かな働き方や生き方を見つけるヒントになっていたのなら嬉しいです」

### 最後に

富士通株式会社が推進する「Work Life Shift」は、従業員の働き方改革と生活の充実を両立させる取り組みとして、従業員のウェルビーイングを実現することを意味します。大分県大分市へ「転職なき移住」をされた金澤さんも、ウェルビーイングを実感されているお一人。そして、これから金澤さんの大分県での活動がさらに楽しみです。

QOL爆上がり中!!



知ってほしい、大分県のあれこれ。

## 温泉大国

別府や湯布院に象徴される大分県の温泉は源泉数と湧出量がダントツで全国1位。泉質10種類のうち8種類を有する。また温泉はクリーンエネルギーとして注目され、地熱発電でも全国1位<sup>(※1)</sup>の実績を誇り、SDGsへの意識が高い。

地熱発電  
全国  
**1**位



## 医療・保育の充実

一般病院数の11.5施設(人口10万あたり)<sup>(※5)</sup>は、東京の4.2、大阪の5.3、福岡の7.6と比較して圧倒的に多い。合計特殊出生率では1.39人(東京0.99、大阪1.19、福岡1.26/一人の女性が15歳から49歳までに産む子どもの数の平均)<sup>(※6)</sup>、保育所数では354.8園(東京26.5園、大阪203.1園、福岡81.7園/0~5歳人口10万人あたり)<sup>(※7)</sup>で子育て支援制度をはじめ育児環境も充実。育児ストレスが少ないランキング<sup>(※8)</sup>でも女性1位、男性2位になるなど子育て満足度1位を目指している。ちなみに、社会体育施設数は510.8施設(東京159.1、大阪135.6、福岡250.6/人口100万人あたり)<sup>(※9)</sup>、多目的運動広場は89.8施設(東京9.6、大阪26.9、福岡45.9/人口100万人あたり)<sup>(※10)</sup>など、健康に関わる環境整備においてもダントツ。

## 海の恵み

海岸線の特徴であるリアス式海岸の入りくんだ美しい小さな湾を生かした養殖がさかん。ヒラメやブリの養殖は全国屈指。関あじや関さばといった全国的ブランドも有し、豊かな海に恵まれる。かばすの生産量全国1位<sup>(※2)</sup>で、かばすを飼料としたかばすヒラメやかばすブリといった新たな養殖ブランドも登場。



## 豊かな歴史・文化

古くは豊の国と呼ばれ、戦国時代には南蛮貿易が盛んに行われるなど、古くから国際色豊かな都市として繁栄。建造物や工芸品、彫刻など守り伝えられてきた文化財のうち県指定有形文化財(建造物)の数は全国2位<sup>(※3)</sup>を誇る。ちなみに市町村指定の建造物件数は全国1位<sup>(※4)</sup>!文化財巡りで飽きることがない。

県指定有形文化財  
全国  
**2**位



## グリーンツーリズムの聖地

阿蘇くじゅう国立公園と瀬戸内海国立公園という国立公園が2つ、耶馬日田英彦山国定公園、祖母傾国定公園、日豊海岸国定公園という3つの国定公園に含まれ、県土の約28%が自然公園に指定。全国に先駆けてグリーンツーリズムに着手。県土の72%が森林で木材産出額は全国5位<sup>(※11)</sup>、伝統工芸の一つ別府竹細工に象徴される真竹の生産量は全国1位<sup>(※12)</sup>。美しい里山が残り、都市と田舎のバランスがほどよく調和されている。しいたけを育てるくぬぎ資源も豊富で乾燥しいたけ生産量で全国1位<sup>(※13)</sup>。四季を通して山の恵みも存分に楽しめる。

県土に占める森林  
**72**%



## 移住者過去最多を更新中

県や市町村の支援策を活用して、大分県内に移住した人は2023年度で933世帯、1714人。前年度比115世帯、206人の増加で、世帯数・人数いずれも4年連続で過去最多を更新。福岡県からの転居が最も多く、次いで首都圏から続く。子育て世帯を含む30代までが全体の半数以上を占める。<sup>(※大分県発表)</sup>宝島社『田舎暮らしの本』で毎年発表される特集「住みたい田舎ベストランキング」2024年2月号版では、大分県が移住したい都道府県ランキング8位にランクイン。総合部門、若者世代・単身者部門、子育て世代部門、シニア世代部門などさまざまなカテゴリーで大分県の各自治体が上位にランクされ、移住先として注目されている。

※1/令和6年(経済産業省資源エネルギー庁) ※2/令和3年(大分県) ※3、4/令和4年都道府県・市町村指定文化財等の件数(文部科学省文化庁) ※5、※7、※9、※10/統計でみる都道府県のすがた2024(総務省統計局) ※6/令和5年人口動態統計(厚生労働省) ※8/「ココロの体力測定2019」(一般社団法人ストレスケア・アライアンス) ※11/令和4年林業産出額(農林水産省大臣官房統計部) ※12、※13/令和4年(大分県)

- 面積:6,340.70km<sup>2</sup>
- 人口:1,085,198人(推計人口 2024年10月1日)
- 県庁所在地:大分市
- 市町村数:18市町村
- おもな産業:製造業・造船業・食料品・家具製造業、鉄鋼、化学、輸送機械電子部品、情報通信 など
- アクセス

飛行機:東京(羽田)から約90分、東京(成田)から約115分、名古屋(中部)、大阪(伊丹)から約70分  
高速バス:福岡・長崎・熊本ほかから発着  
フェリー:大阪・神戸・八幡浜ほか  
高速道路:東九州自動車道・大分自動車道  
鉄道:JR日豊本線、JR久大本線、JR豊肥本線



### 宇佐・国東半島エリア

北東部、火山によってできた半島。独自の仏教文化が栄え、歴史ある建造物が点在、仏教文化を色濃く残す。国宝に指定される八幡社の総本宮「宇佐神宮」など貴重な文化財も多い。

### 日田・耶馬エリア

北西部に位置する山々と豊かな森林・水源に恵まれたエリア。日本三大奇景「耶馬溪」をはじめ四季折々の素晴らしい景観が見どころ。福岡へのアクセスが良いことも魅力の一つ。

### やまなみエリア

南西部、くじゅう連山や由布岳など草原の大パノラマが見事な大自然が特徴。日本百名道にも選ばれている絶景ドライブルートなども有し、福岡へのアクセスも至便。

### 竹田・奥豊後エリア

熊本県と宮崎県に接する南西部に位置。雄大な山々、美しい渓谷、日本最大級の水かき鍾乳洞や名瀑「原尻の滝」や「白水の滝」など、大自然の迫力ある景観が最大の魅力。

### 別府湾エリア

大分県中部に位置し別府湾岸に広がる、温泉大国の象徴。県庁所在地のある大分市も含まれ、都市機能が集まった産業の中心的エリア。

### 日豊海岸エリア

豊後水道に面し、複雑に削られたリアス式海岸を持つ。海と海岸が織りなす美しい景観と豊富な海産物を存分に堪能できる。宮崎へのアクセスには最適なエリア。